



医療機関名	種別	圏域
公益社団法人岐阜病院	地域型	岐阜
医療法人香風会黒野病院	地域型	
岐阜市民病院	基幹型	
医療法人静風会大垣病院	地域型	西濃
医療法人清仁会のぞみの丘ホスピタル	地域型	中濃
医療法人春陽会慈恵中央病院	連携型	
医療法人仁誠会大湫病院	地域型	東濃
医療法人生仁会須田病院	地域型	飛騨

### (3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 (介護保険事業費補助金)

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	35,564	基幹型 8,074×1、地域型 3,621×5、7,921×1、連携型 1,464×1
合計	35,564	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画「その他の疾病等に対する対策」(認知症疾患対策)に位置付けられている。

### (2) 後年度の財政負担

認知症疾患医療センターを継続的に運営するためには、毎年度において予算措置が必要。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県内において地域の認知症疾患医療拠点となりうる医療機関を指定(現在5圏域8病院内に設置済)

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

認知症に関する専門医療の提供や専門医療相談、また地域連携の役割を担う認知症疾患医療センターを継続して設置する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

認知症を早期発見・早期診断し、適切な治療につなげるための体制整備として、認知症疾患医療センターの継続的な設置運営を目標としているため。

### （前年度の取組）

<令和元年度>

設置センター数 8箇所（基幹型1、地域型6、連携型1）

相談件数 4,097件（うち電話相談2,967件）

鑑別診断件数 2,831件

### （前年度の成果）

認知症疾患に関する鑑別診断、周辺状況と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、地域保健医療・介護関係者への研修等を実施している。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>		
(評価)	○	認知症高齢者とその家族が尊厳を保ちながら住みなれた地域（在宅）で穏やかな生活を送ることができるようにするために、認知症を早期発見・早期診断し、適切な治療につなげることができる体制の整備が必要であり、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>		
(評価)	○	各センターにおいて、専門医療相談が実施され、地域毎に認知症疾患医療連携協議会が設置・開催されるなど、有効に機能している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>		
(評価)	○	定期的に各認知症疾患医療センターの担当者を集めた担当者会議を開催し、各センターの実施状況等を情報共有することで、事業の効率化を図っている。

### (今後の課題)

<p>高齢化の進展に伴い、今後更に認知症高齢者の増加が予測されるため、地域の認知症疾患医療拠点として、機能強化・地域連携の促進を図っていく必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>引き続き、地域の認知症疾患医療センターを設置・運営し、市町村、地域包括支援センターや介護施設等、関係機関との連携強化を進めていく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p style="text-align: right;">【○○課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	